

2024 年度 第2回市立須坂図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 開催日時 2024 年 11 月 21 日(木)午後 10 時～11 時 20 分
- 2 開催場所 市立須坂図書館 第1講習室(西館2階)
- 3 出席委員 8名
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 文化スポーツ課長、図書館長、管理係長
- 6 配布資料 資料1 2024 年度上半期事業報告及び下半期事業計画について  
資料2 図書館の開館時間について  
資料3 長野県図書館大会 実施報告について

7 会議状況 各事項について事務局説明後、質疑（◇は委員の発言、◆は事務局の発言）

(1) 2024 年度 上半期事業報告について

(2) 2024 年度 下半期事業計画について

◇「11 調査相談活動（レファレンス）」は図書館の利用者の方が来館されて「こういう事を調べたいがどんな本があるか」「どういう道筋で調べていったらいいか」などに対するアドバイスのことを指しているのか。

◆仰るとおりで、そのような調査のお手伝いのほか、「このような本はどの棚にあるか」等のご案内するケースも含んでいる。

◇「2 須坂人コーナーの充実」について、具体的に新旧どんな収集をしているのか。

◆須坂市にゆかりのある方の著書を集めているコーナーで、コーナーを始めた当時に集めたものに加え、須坂市に関わりのある著者から寄贈された本や、図書館で購入した本を配置している。

◆1階のロビーの目立つ場所に棚を用意しているが、一つの棚では収まりきれない。ご自分で出された俳句集や短歌集をご寄贈くださる方も多いので、そういった本を集めた「すざかびとのうた」というコーナーを階段の踊り場にも設けている。

また、市制施行70周年記念にちなんで、須坂の偉人や著名な方の、人物像や歴史等が一枚で分かるコンパクトなカード「須坂人カード」を6人分作成し、郷土資料で配布する取り組みを始めた。これからも継続して増やしていきたい。

◇須坂市の成り立ちや近代歴史を調べているが、以前は1階にあったものが、2階の郷土資料室に移った。関連したものと手に取りやすい。子どもたちは、住んでいる町の製糸業など近代からの成り立ちを知らないのではないか。これからこの町で生きていく子どもたちにも知ってほしい。

◆一階の児童室の一角に、児童向けの郷土資料のコーナーを作っている。「須坂人カード」も郷土資料室

だけでなく、児童のコーナーにも設置したい。

◇資料を見ると多くの事業があるが、業務の取捨選択をしていかないと増える一方になってしまう。報告書に記載の数字も、手間をかけてまとめていく、件数を数えるという作業が本当に必要か見直してもいいのではと感じた。数字をまとめなくても住民サービス自体はできる。まとめることに時間をかけるよりも、サービスに注力した方がよい。本当にこの会議に数字を出すことが必要なのかも含めて、全体的に見直したらどうか。内部で協議いただきたい。

◆例えば数字の出し方について、レファレンスの数え方はそれぞれの図書館で少しずつ異なる。以前は調査申込されたものだけを厳密にカウントしていたが、ある時期から、利用者の方から声かけがあってご案内したこともレファレンスの件数にカウントするようにした。簡単なご案内でも実績となることで職員のモチベーションが上がったということもある。

◇業務改善という点で、本日出した資料は、他へ提出する様式と一緒になのか。

◆資料1は、「定期監査」の資料をほぼそのまま使わせていただいている。

◆監査を受検するための資料と共用することで、事務を軽減させていただいている。件数が何件かというのは過去から毎年監査を受けて、質問や指摘されたことが積み重なってきている。システムで自動的に集計できる件数であればすぐ出せるが、日々の積み重ねで職員が正の字を書いて集計している事務手間がかかる数字は、作業の負担軽減のため簡素化させていただきたいという事は、監査事務局へも伝えて協議したい。

◇セルフ貸出機が設置されたが、カウンター貸出との利用者の割合は把握されているか。セルフ貸出機の利用が多ければ、その分職員の手も空くと思うが、業務は軽減したか。

◆件数は集計していないが、特に借りる冊数が少ない方はセルフ貸出でさっと借りていく様子が見られる。ただ、新刊コーナーの本や雑誌など、セルフ貸出機を使えない種類のものがあるので、そういった場合はカウンターで貸出する。目に見えて業務が軽減したということはないが、利用者サービスの向上につながったと考えている。

◇利用者側からも1冊2冊だとすぐ貸出機を通して借りて行けるので、便利に感じている。

◆親子で楽しみながら使っている様子もある。他の図書館は、機械化が進んでおり、須坂の子どもたちが市外に出た時に、貸出機の使い方が分からないという状況があるのは可哀想だと思う。高山村や小布施町も含めて、大人になるまでに図書館を体験してほしいと考えている。

◇「7p 年度別図書館等利用状況」によると前年同期より来館者数が減っているとのことだが、「デジとしよ信州」の利用が来館者数に影響している関係はあるか。来館しなくても本を読んでいる人がいるのであれば、単純に減っただけとは言えないという見方もできると感じた。

◆「デジとしよ信州」については、まだ来館者数に影響が出るほど貸出があるとは考えていない。これから小中学校との連携も始まり、近日中に小中学校の先生方がお試しで使っていただくように4年生以上の各学年にテストIDを配布する予定。まず先生が体験し、児童生徒の利用に繋がれば、「デジとしよ信州」の利用者数も増えていくのではないかと。

◇利用する窓口が広がっていくことで、必ずしも来館者数の数だけではないという事で、今後も「デジとしよ信州」が活用できるとよい。

### (3) 図書館の開館時間について

◆前回7月の図書館協議会で、平日の開館時間を9時から9時30分に延長するという案を協議いただき、この方向性で進める方針となった。その後の進捗についてご報告したい。内部でもこの変更案のとおりに進めることを決定し、9月議会の福祉環境委員会での説明を行った。議員からは図書館の人員についての質問等があったが、特に反対意見はなかった。その後、市役所内での法規審査委員会での審査を経て、最終的に11月25日に行う定例教育委員会へ議案を提出している。そこで承認いただければ、12月には公示できる予定。この規則は令和7年4月1日施行としているので、今後來年度に向けて、利用者への周知をすすめる予定。今後の課題としては、スムーズに移行できるよう利用者にとどのように周知していくかを第一に考えている。また4月からは30分間の時間を有効に使って、よりよいサービスができるように職員の準備体制を整えていきたい。

◇前回資料のアンケートの中で、「子どもを朝送ってからそのまま来られるので、朝9時からがよい」という意見があったかと思う。そのような方への受け皿は他にあるのか。

◆地域公民館図書室は9時から図書室を開放している館もあるが、地域によって実態は様々で、その方にとって必ずしも都合のよい場所があるとは言えない。全体としては、生活習慣の中で9時30分開館を定着させていただきよう、取り組んでいくということを考えている。個別の事情はあり、9時から来館することが習慣になっている方もいる。これからどう丁寧に説明していくかということになる。

### (4) その他

#### ・長野県図書館大会 実施報告について

◆皆様のご協力をいただき無事に開催することができた。アンケートにもあったが、大会スタッフのホスピタリティが良かったという感想をいただいた。これは須高地区の学校の先生方、学校の司書、図書館職員が、土曜日の一日を手弁当ではなく、仕事として待遇をきちんとしていただけたことが大きかったと思う。それによりスタッフとして働く皆さんも、生き生きと頑張ることができた。

◇コロナ禍の影響で状況が見えない中で、小中学校部会と公共図書館部会などに分かれている図書館協会の組織が複雑で分かりにくく、どこがイニシアティブを取るか苦労されている支部もあった。今回は、情報交換を学校側と公共図書館で行い、また市教育長も早めに関わってくださり、連携しながら進めることができた。発表者をお願いした際に快く引き受けていただいたことも有難かった。

◇公共と学校が連携してバランスよく運営できた。コロナ禍が明けていい形で再スタートができた大会となったと思う。

◇分科会発表者の一人として参加したが、ボランティアや学校の先生方などと意見を活発に交わすことができ、有意義な時間が過ごせた。

・来年度以降の予算編成にむけて

◆委員の皆様から、図書館の施設面で改善点などがあれば、今後の予算要望の参考にさせていただきたいため、ご意見をお聞かせいただきたい。

◇現在の場所で開館してからだいぶ年数が経っている。須坂図書館は、長野市や小布施町の友人から、あまり評判がよくない。「蔵書数が少ない」「行っても借りたい本がない」と言われる。これからの須坂図書館の方向性や目標は立てているのか。図書館大会の様子を聞いても、市民の皆さんは本に興味がある人が多くポテンシャルはあると思う。施設の職員も色々なコーナーを作るなど工夫していると感じる。「人」が動くと周りに熱量が伝わる。その熱量を拡げていくものを発信できたらよい。『図書館は生きている』という本を読むと、「司書に助けられる、司書に会いたくて図書館に行ったりする、建物が素晴らしくて行ったりもする」とある。建物はお金の掛かることだが、もっと図書館に関わりたいたいと思っている人も知らないし、きちんと報酬を払うことはもちろんだが、短時間でもお手伝いしたいという人も知らない。人が動くと、図書館に皆の目がいて、予算もつくのではないかな。

◆図書館で働き始めてから、建物が古いなど悪条件で固定して動かしようのない事以外、「やれること」は全部やってきた。職員のレファレンスに応える力もついてきて、選書も工夫して地域にあった本を丁寧に探して購入できるようになった。本の並べ方も図書館の形にあうよう独自に変えている。おはなしボランティアさんも素晴らしい。これからも中身の充実のため、「こうだったらいいな」「ここを直したらもっとよい図書館になる」「こういう本を置いてほしい」など要望を職員へどんどん伝えてほしい。

◆須坂市の施設全体の流れとして、市役所の本庁舎は 50 年以上経っている建物で老朽化が進んでいるため、建て替えの検討に入っている。まだスケジュールも決まっていない段階だが、その計画の中に複合的な機能として、図書館が入れる可能性もあるのではないかな。検討の中で訴えていきたい。

## 5 その他

### (1) 委員報酬について

委員報酬を 12 月末までに指定口座に振り込む予定（公務員の委員は無報酬）

### (2) 次回開催について

次回開催については、来年の 6 月～7 月となる予定。

◇次回以降でよいが、短い時間でよいので現場をご案内いただき、パソコンシステムの状況や工夫している点など実際に見ながら説明いただけると、もう少し踏み込んだ意見が出るのではないかな。

◆よろしければ今日ご都合のよい方だけでも、これから館内をご案内するがいかがか。

→会議終了後、希望者が図書館内部を見学して解散となった。

以上